



女性と災害復興

ルマンティ・ジョシ

Lumanti Support Group for Shelter

住宅プログラム・マネジャー

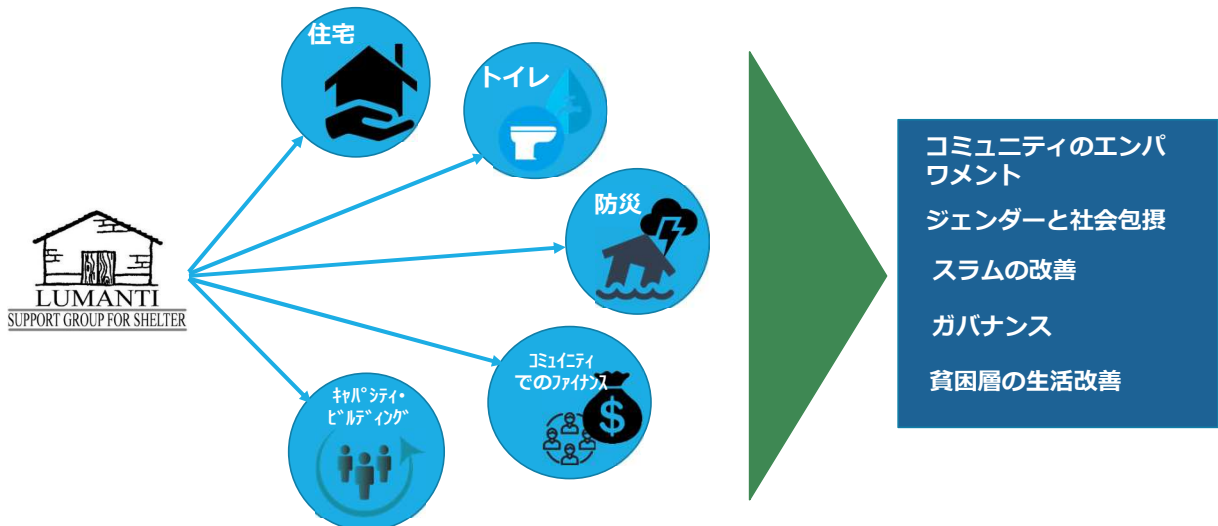
2019年11月20日@東京

発表内容



- ◆ネパールのNGO・Lumantiのご紹介
- ◆なぜ女性と活動するのか？
- ◆女性の組織化
- ◆女性と災害復興（住宅再建）
- ◆キー・メッセージ
- ◆インパクト

LUMANTIのご紹介



なぜ女性と活動するのか？



貧困コミュニティのコンテキスト

- ◆ 差別と周辺化
- ◆ 依存
- ◆ 平等な機会の欠如
- ◆ 家庭・コミュニティにおいて意思決定権がない
- ◆ 災害に対して脆弱



女性の組織化とエンパワメント

- ◆セービング（貯蓄）活動を通して女性を組織化
- ◆40の女性の金融組合を結成、また全体で35,000人の会員にのぼる自助グループ（貯蓄が目的）も多数結成
- ◆住宅、生計向上、教育への支出を目的に、40の組合が合計1,540万ルピーを貯蓄
 - 女性は金融サービスに容易にアクセスできる
 - 女性は金融に関する意思決定ができる
 - 女性は金融サービスに関する政策を作成する
- ◆女性たちが開発プロジェクトに関し、意見を主張し、リードできるように支援している
- ◆草の根レベルの女性リーダーたちのキャパシティ向上に貢献している



震災の被害概要



2015年4月25日と5月12日： 13郡が深刻な被害を受ける、被害を受けた郡は合計17郡

全壊した世帯数：767,705世帯
 一部損壊世帯数：256,697世帯
 合計死者数：9,000人
 合計負傷者数：23,000人





女性組合による支援

コミュニティ・女性主導アプローチ

- 女性組合が仮設住宅のニーズを評価
- 最も脆弱な家族・世帯を特定
- 必要に応じて基金を使える柔軟性
- 予算に限りがあるため、できるだけ多くの世帯に支援
- 支援活動を行う他機関ともつなげる
- 住宅建設の監督役
- もめごとの仲裁役

職人ボランティアの手配

- 住宅の損壊状況の評価
- 仮設の建設
- 「build back safe」の知識の共有

基金の設立/自身の資金の利用

- コミュニティ共有のキッチンを管理
- 救援物資の分配

地方政府との調整

選定基準

- 住宅・家財道具一式を失った最貧困世帯
- 女性世帯主世帯
- 妊娠女性、あるいは小さな子供がいる大家族世帯
- 老人、病人、障害者のいる世帯

現金支援

仮設の支援

生計支援

住宅再建

別の地域に避難している人々の再定住を支援



仮設住宅の支援

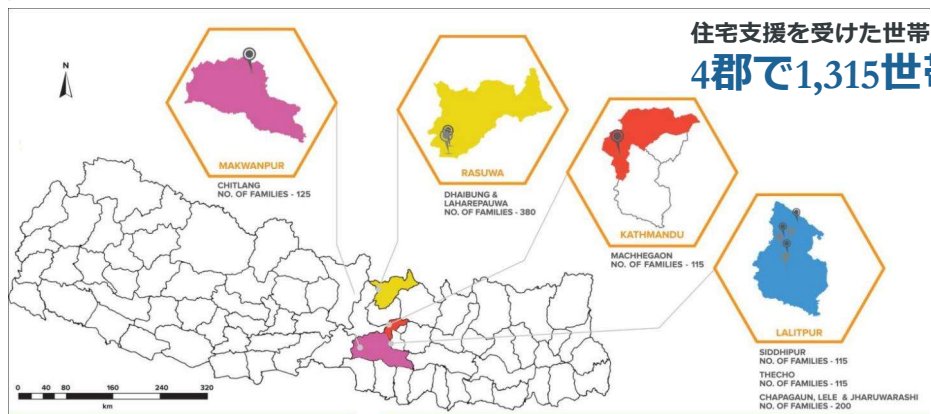


6,000 家族に対し、
仮設住宅の建設支援

女性主導の都市部での災害復興



LUMANTIによる災害復興支援



女性組合

団結しての災害復興

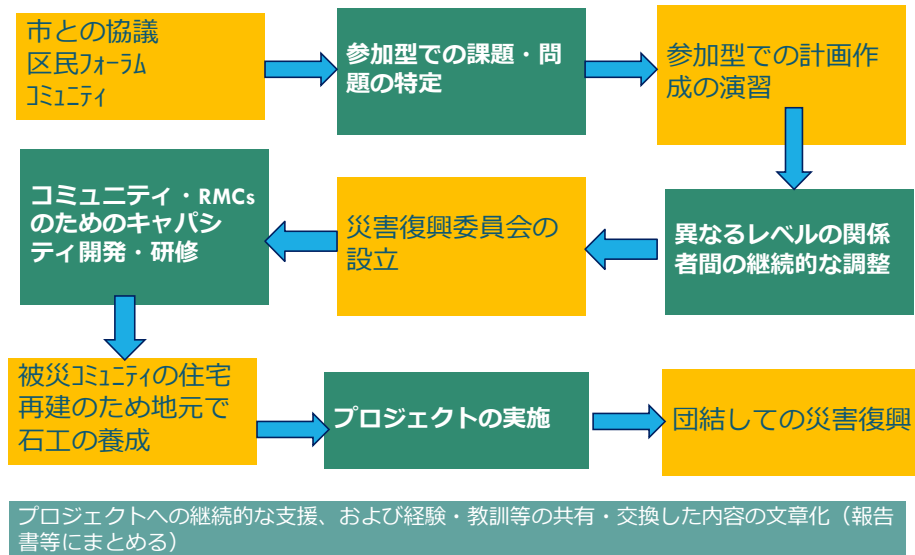
調整とパートナーシップ

キャパシティ向上と技術支援

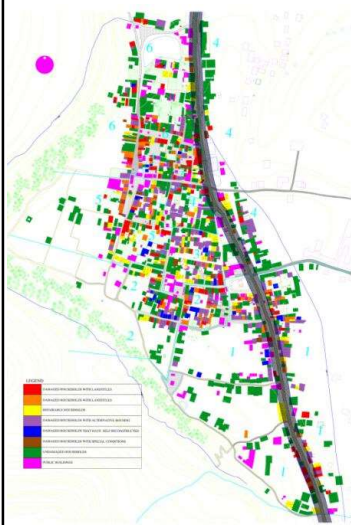
被災者主体

現地の資源と知識の活用

災害復興のプロセス



住宅再建世帯のマッピングと選定



- ・ 家屋の損壊レベルによるマッピング
- ・ 土地所有の種別やサイズ等によるマッピング
- ・ インフラの課題
- ・ コミュニティにおけるリスクのマッピング
- ・ 問題解決のためのブレイン・ストーミング
- ・ 政策提言

コミュニティの参加
特に女性の積極的参加
によりマッピング



女性グループが携わる問題・課題を特定



損壊家屋のマッピング



土地所有によるマッピング



土地の区画ごとのマッピング

テホにおける土地に関するマッピングの結果

コミュニティとの活動



コミュニティが意思決定
女性組合は調整とファシリテーション

計画の発表



最貧困層を支援



追加の資金支援

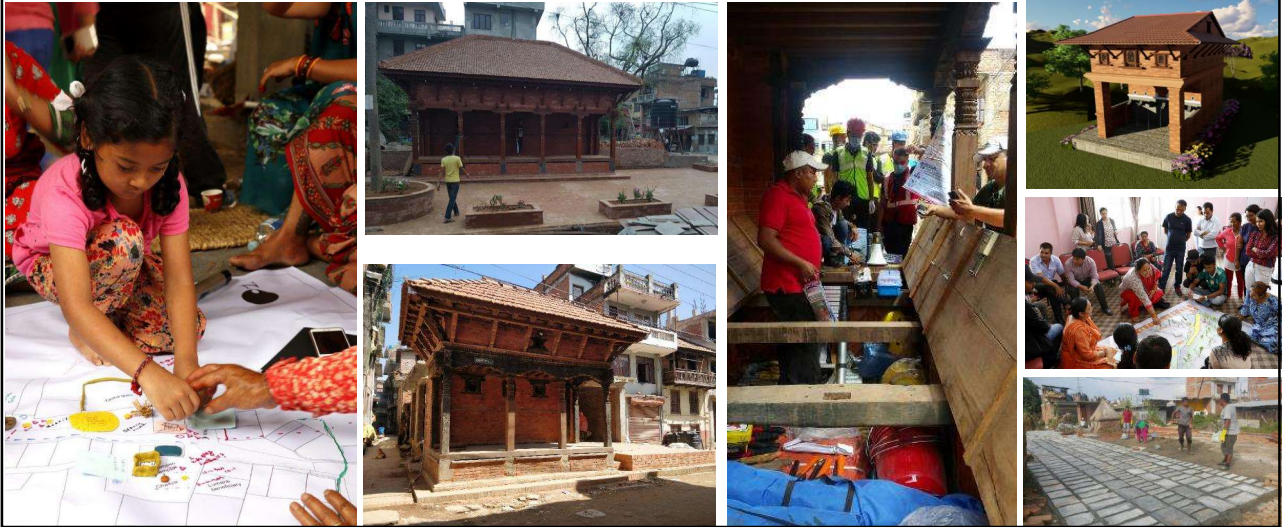
女性組合からローンの支援

斬新なデザイン

回収物・資材の再利用



コミュニティのインフラを計画



災害復興における女性たち



- ◆ 1,315棟の無償の住宅再建を支援
- ◆ 脆弱な女性世帯主世帯を最優先
- ◆ コミュニティに対して技術支援
- ◆ 「誰ひとり取り残さない」ため、また災害復興活動を促進するためのコミュニティ主導のアプローチ
- ◆ 「ビルド・バック・ベター（より良い復興）」に関する情報を提供するため、女性たちが一軒一軒訪問
- ◆ モービライザー（コミュニティを活性化する人）として女性たちが活躍
- ◆ 女性たちの石工養成のための研修への参加を推進
- ◆ Dalit（ネパールのカースト制における最下層・不可触民）や脆弱な女性世帯に対する追加の支援

なぜ成功したのか



- ◆女性組合/グループ/リーダーシップの形成に、長期にわたり、（お金、時間、スキル、知識、自信、関係、信頼を）投資してきた。
- ◆災害に対するレジリエンス（計画、マッピング、研修、シミュレーション、演習、備蓄、生計）、インフラ、ボーリング（掘削）、水処理システムを形成するための長きにわたる準備活動
- ◆女性組合によるセービング（貯蓄）活動がもともとあった。
- ◆支援組織や政府機関との関係やパートナーシップ。
- ◆女性のネットワーク形成や強靱性（災害復興に必要な資源の準備・調達）の強化に資するアプローチをとるにあたっての柔軟性。

キー・メッセージ



- ◆コミュニティや女性主導のプロセスは、費用対効果がよく、コミュニティの結束を作り、その平和と調和を維持し、文化を守り、サービス・デリバリーのプロセスを早める。
- ◆コミュニティ主導のプロセスは、政策に組み込まれ、実施も支援されるべきである。
- ◆各地域のコンテキストを理解し、地元の人々と協議することがとても重要である。
- ◆地方レベルでの意思決定は分権化されることで、コミュニティと地方政府のパートナーシップが強められる。
- ◆緊急支援と長期の持続可能な開発支援をつなげることは必須である。



インパクト

- ◆ 組織・制度の開発
- ◆ 強い資源の基礎となるもの
- ◆ 地元経済への貢献
- ◆ エンパワーした女性たち
- ◆ 静かなる社会変革

